

春には山吹の花が咲き乱れ、夏は釣りや水遊びの人々で賑わい、秋の紅葉、そして雪と氷に彩られる冬の静けさ

御坂山塊の黒岳を源流とする芦川は、歴史的にも人々の生活に深く関わってきた


そんなふるさとの川、芦川溪谷の流域にはそこに暮らす人々の想いや情熱が息づいている

特集 芦川溪谷が 与えてくれたもの

芦川溪谷流域ではほとんどの集落が蛇行する川の内側に形成されている



芦川溪谷入り口付近にある光勝寺には、旅の安全を祈願する大小多くのわらじが奉納されており、街道筋であったことをしのばせる

 町内の三珠、市川地区を縦断し富士川へと注ぐ芦川。一般的に三珠地区の川浦橋より上流は川の両岸に山肌が迫り、芦川溪谷と呼ばれています。古くから芦川溪谷沿いには中道往還から市川代官所への道として街道が整備され、市川道の一つとして人々の往来が行われてきました。また、溪谷沿いにはいくつかの集落が形成され、下九一色地域として人々の生活が営まれています。

そんな芦川溪谷が流域の人々に与えたもの、その恩恵に応える住民の姿を追いかけてみました。

芦川から始まった山梨の電力

今では生活するうえでなくてはならない電気。しかしその電気のまばゆい光を初めて見た人たちの驚きは、どれほどのものだったでしょうか。

そんな、山梨県の電力の供給は芦川から始まったことをご存知ですか？

三珠地区の川浦から県道36号線を遡ると、ほどなく左岸に芦川第一発電所が見えてきます。この芦川第一発電所が、明治33年に完成し山梨県に初めて電球の光をもたらした電力の供給源です。

山梨県での最初の電気事

業計画は、芦川の流れを利用して発電を行い甲府市などに電気を供給しようとするものでした。この計画の中心となったのが



歌舞伎文化公園内に設置された水力発電発祥の郷記念碑と、秋山喜蔵氏の胸像



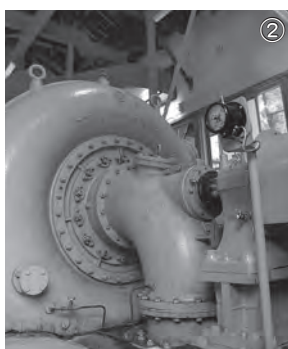
明治33年に完成し、1世紀を経過した現在でも運用が続いている芦川第一発電所。県内では初めて、全国的にも3番目に歴史が古い。芦川ではその後、明治39年に芦川第二発電所が、同44年には第三発電所が建設された

当時の甲府電力株式会社社長、後の市川大門町長となる秋山喜蔵氏だったそうです。秋山氏は、明治25年頃から発電事業の計画を練り始め、県内の河川を視察して回っていた当時、精進湖に滞在していたイギリス人牧師が芦川を下った時に「この川は発電に最適だ」と勧められたのが、芦川に発電所を造った発端だったと言われています。

芦川第一発電所は、その後も電力を供給しつづけて、100年を経過した現在でも、最大出力470キロワットを発生する発電所として運用を続けています。



①山梨の電力100周年記念として芦川第一発電所内に植樹された藤の木
②1978年製造の発電機の心臓部、タービン部分。発電機自体は発電所建設以来2台目だが、部分的に改良、交換を重ね現在に至っている
③6月24日、上野小学校3年生は地域の土地活用、地域の特徴を知るため、社会化見学で芦川第一発電所を訪れた



守るべきふるさと の伝統文化

深い谷間を縫うように流れる芦川溪谷沿いには、いくつかの集落があります。有泉大さんが暮らしてきた中山も、その集落のひとつです。

有泉さんの自宅は、玄関を出ればすぐに芦川の流れが望める場所に建っています。「外からみると環境的にすばらしい場所かもしれないけど、自分たちにとっては恐怖の川でもあるんですよ」そう語る有泉さんは、今まで大きな台風で2度、家が水に浸かってしまったといいます。大雨の時は床



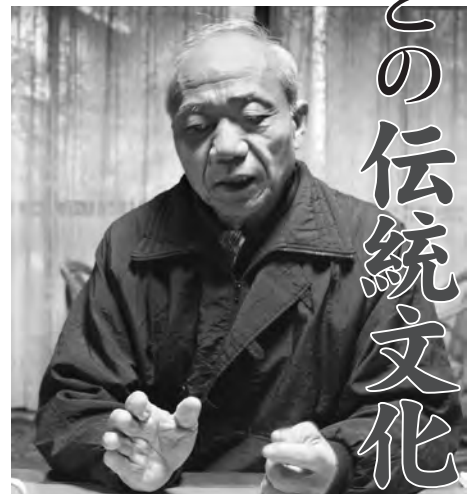
溪谷沿いには、急斜面にしがみつくような畑も多く存在する

上浸水までいかなかったも、地響きや石が流れる音で怖くて眠れないそうです。

他にも深

い谷間ゆえ、日照時間が短いなど生活するうえでは不便な土地かもしれませんが、有泉さんにとっては不便な土地ならではの生活の知恵がついたといいます。「自給自足の生活を心がけるようになるから、ある物を自分で工夫して利用するとか物を大事にする心が育つんです」

「私たちには昔から受け継がれている財産や伝統、文化を守っていかなければならぬ義務があります。たしかに今は若いひとたちが出ていって、戸数も減ってしまったかもしれないけど、きつと帰ってきますよ。」



元県職員の有泉大さん(67)は多方面にわたり知識、技術を持ち、多くの役職をこなすなど地域の指導者的存在

ここは生まれ育った思い出がたくさんある、ふるさとですから」

戻ってきた芦川のヤマメ

溪流の女王、ヤマメ(山女)。過去から現在に至るまで芦川溪谷には、たくさんのヤマメが生息していると思われているかもしれない。しかし、人間の手が加えられ遡上ができなくなつた川では、魚は自然に繁殖することができません。

以前に比べると台風の接近による増水、また釣り人



①中山橋付近の普段の芦川 ②昭和58年8月16日台風5号による大雨で増水した同地点 ③切り立った山々に囲まれた芦川溪谷。有泉さんは空を見上げ「この地域は川の流れの方向と空の流れの方角が同じなんだ」と表現した



泉眸^{ひとみ}さんによると、最初は下九一色地域の有志7人で発足し、メンバーの一人、有泉大さんを中心に養殖の技術を学んだそうです。

「釣り天狗会」がヤマメを呼び戻すためにとつた行動は、漁業組合から受精卵を購入し、卵をそれぞれの家庭で孵化させ稚魚を芦川の支流に放すというもので



(写真上) 釣り天狗会創設時の会長・有泉眸さん(75)。放流の成果もあり、最近では川の淵などで産卵するヤマメを見ることも多くなった (写真下) 3月1日溪流釣りの解禁日には、毎年多くの太公望が訪れる



シーズンには多くの見学者がやってくる。昨年は500人以上訪れたという

した。成魚で購入するよりも同じ値段で数多くのヤマメを手に入れることができます。この活動は功を奏し、年々ヤマメの姿を多く見ることができるようになったと言います。今では同じ芦川流域の旧上九一色村(現甲府市)の方もメンバーに加わり活動しています。会が発足して21年。今年には三珠保育所の園児を招いて、ヤマメの放流をしました(表紙写真)。「子どもたちに、芦川のこと、ヤマメのことを知ってほしいんです」優しい目で園児たちに話しかける姿が印象的な、有泉眸さんでした。



早春に白く可憐な花を咲かせるセツブンソウ

春まだ浅い2月初旬、溪谷沿いの山間でひっそりと小さな花が開きます。県下でも数カ所にしか自生していない希少な花、セツブンソウです。自宅裏山に群落しているこのセツブンソウを管理し、また広く見学者に開放しているのが古宿の渡部守子さんです。「以前、桑畑

だったところ、自然に増えていったようです。昭和63年に新聞で紹介され、しだいに花を見に来る方が増えました。最初は勝手に採取していく方もいたらしく、母親もだいぶ苦労していました」そんな母親の苦労を知っているながら、渡部さんは今でも自宅敷地内を開放し、また在宅時には見学者に案内や説明を行っています。「セツブンソウを見に来た

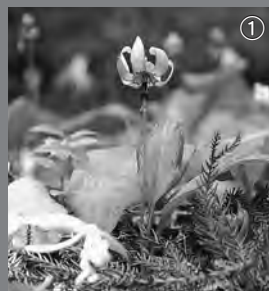


下草刈りや歩道の整備など、セツブンソウの保護に努める渡部守子さん(61)

方に、少しでもこの地域の良い印象を持ち帰ってもらいたいんです」早春、昼を過ぎると急に冷え込むこの場所でも、セツブンソウの小さな花の可憐さと、渡部さんの熱い想いで観光客の心を温かくしています。



②



①

芦川に自生する希少な草花

①カタクリ▶本来の片栗粉の原料になる球根性多年草。乱獲により希少種となった。

②ミスミソウ▶キンポウゲ科の多年草。雪割草の名でも知られる。※いずれも盗掘防止のため、自生地の詳細は公表を控えています。

この地で育った人たちの胸に、芦川溪谷への想いは強く鮮明に焼きつき、生活の一部として存在しています。そして、芦川溪谷からの恩恵は、ふるさとの誇りとして永遠に受け継がれています。

教育委員会の通信簿

教育委員会の仕事と、平成21年度市川三郷町教育委員会の事務点検及び評価



——いつも話題豊富なみさとちゃん家。今日は父さんと教育委員会の話をしていよう。



みさととは教育委員会って知ってるかい？



知ってるよ。私が先生に叱られるように、教育委員会は学校を叱ってくれるんですよ。



おいおい、へんなドラマを見すぎだぞ。たしかに学校教育の指導もしてるけど、教育委員会の仕事はそれだけじゃないんだぞ。



そう言えば私が時々参加してる「楽しい教室」も教育委員会がやってたかも。



そうだよ。教育委員会は学校だけじゃなくて、町の教育に関する仕事をたくさんやってるんだよ。



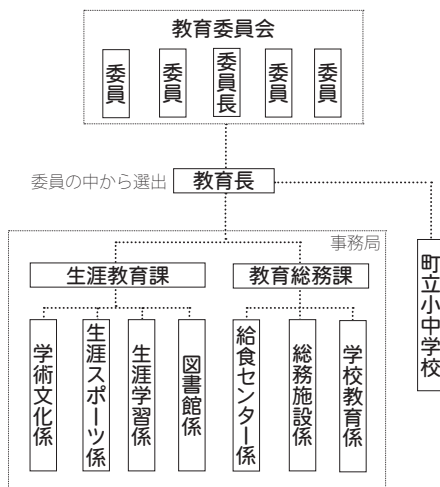
教育っていうと学校しか思いつかないんだけど。



生涯教育って言葉を知ってるかい？勉強やスポーツをするのは子どもたちだけじゃないんだ。大人だって、高齢者だって人間は一生学習をするんだ。

市川三郷町教育委員会の機構図

教育委員会は、教育行政事務を執行する合議制の機関で、合議により教育の基本方針を決定しています。町には町長が議会の承認を得て任命した5名の教育委員がおかれています。教育委員長は委員の中から互選され、また、委員長以外に事務局を総括する教育長が選任され、教育長の統轄のもと事務局が設置されています。



私たちは学校で勉強するけど、大人たちはどこで勉強しているの？



子どもみたいに学校で授業を受けなきゃならないってことはないけど、父さんだって町のゴルフ教室に通っているし、母さんも週1回、公民館にママさんコーラスの練習へ行っているよね。家の中でも時々、書道もしているし、そういうもの全てが、大人にとつての勉強なんだ。学校も含めて、その学習場所や学習機会のお手伝いをするのが教育委員会なんだよ。



みさととは夏休みとかに図書館でも勉強するよ。



勉強？おまえは図書館に涼みに行ってるだけじゃないのか。でも、そうだね。町立図書館も教育委員会で運営をしている施設の一つだよ。他にもバトミントン教室に参加したり、去年は古墳も見に行ったよね。そうだ、姉妹都市のマスカティーン市にも行きたいって言ってたじゃないか。スポーツ教室だって、古墳の管理だって、国際交流だってみんな町の教育委員会でやっている仕事なんだよ。



おめでた
おくやみ

10月届出分
(敬称略)



※本人・ご家族の申し出があったもののみ掲載

誕生

二気(ふたき)に育つてね

氏名 届出人 地域

山下陽菜梨(ひまわり) 哲也 上野

井出早栄(さえ) 仁 市川大門

山本海璃(かいり) 昌平 市川大門

井上慶大(けいた) 陽輔 高田

野中莉生(りせい) 純矢 岩間

笠井煌実(くわみ) 琢実 楠甫

結婚

すばらしいご家庭を
両人の氏名

込山聖二(せいじ) 鈴木祐美

片桐隆太(たかた) 鳥飼けい子

中込大輔(だいすけ) 笠井美里

死亡

お悔やみ申しあげます

氏名 届出人 地域

丹沢美津子(みづこ) 直美 上野

八代辰雄(たけお) 好二 上野

平成 21 年度市川三郷町教育委員会の事務の点検及び評価

項 目	観 点	評価の平均点
生涯学習 の充実	公民館活動の支援は充実しているか	3.6
	生涯学習推進のため各講座は充実しているか	4.2
	図書館事業は充実しているか	3.8
	青少年健全育成に努めているか	3.4
生涯 スポーツ の振興	町民の体力づくりの向上は充実しているか	2.8
	体育施設の管理及び充実に努めているか	4.0
	スポーツ活動の振興に努めているか	3.2
	関係団体と連携して事業を進めているか	3.8
	スポーツの指導者育成に努めているか	3.4
	スポーツ愛好者の底辺拡大に努めているか	3.4
文化 芸術の 振興	文化の振興に努めているか	3.4
	文化財の保護、継承の支援活動が充実しているか	3.4
	「本物」に触れる機会の提供に努めているか	3.2
体験学習 の推進	地域の特色を生かした体験学習プログラムは提供できたか	3.0
	伝統産業の技術を体験できる機会を提供できたか	3.0
国際交流 の推進	国際交流にあたり町民の地域理解が向上しているか	3.2
	国際交流協会への支援は充実しているか	4.4
学校教育 の充実	教育課程の確実な実施・評価・改善に努めているか	4.2
	指導方法と評価方法の工夫・改善に努めているか	4.0
	生徒指導の充実に努めているか	3.8
	健康安全指導の充実に努めているか	3.6
	学校、家庭、地域等関係機関との連携に努めているか	3.8
教育 委員会 及び 事務局	国際理解教育の推進に努めているか	3.6
	教育委員会の会議の運営改善に努めているか	4.0
	企画、指導、管理は適切か	4.0
	人事や組織の改善に努めているか	3.8
	学校等の施設の充実に努めているか	4.4
総平均値（上記 27 項目の評定の平均値）		3.6

※「評定の平均値」は各教育委員が上記 27 項目について 5 段階絶対評価（5：極めて満足 4：満足 3：普通 2：不満 1：極めて不満）で、評定したものの平均値です

そうだよ。大人から子どもまで、一生を通して学習するみんなを応援するのが、教育委員会の仕事なんだ。これらを踏まえて左の表を見てみよう。

そうかい、教育委員会ってなんか難しいイメージがあるって、みさとは縁がないところだと思っていたけど、知らないうちにみさともお世話になっていたね。

これは、5 人の教育委員が委員会の仕事がいかにできているか 5 段階で自己評価したものなんだ。この結果は議会にも報告するんだよ。もっとも評価の高かったのが「国際交流への支援」の 4・4 で、もっとも低かったのが「町民の体力づくりの向上」の 2・8 だね。町民体力測定や、

うわあ、なんだか学校の通信表みたい。

町教育委員会ではこれらの評価をもとに、教育水準の維持向上や地域の実情に応じた教育の振興を図っていきます。

今後は内容について更に検討し、必要に応じて改訂していきます。また、ホームページにも掲載します。

【問い合わせ】

町教育委員会
教育総務課
☎ 055-272-6093



その人にあつた体力づくりの機会が期待されているみたいだね。

芦澤あい子	加藤志げる	望月 政寿	大森 傳一	井上 初男	望月ユウエ	小林ちあき	伊藤 一雄	井上とみ子	青柳 七代	依田ナツコ	望月 國子	佐野 昇	一瀬 富治	石川 章	切刀みどり	長田 米子	山形三千男	塩島 義一
榮 幸	節 子	徳 子	高石孝子	久 夫	安 夫	潔 一	浩 一	嘉 聡	一 馬	茂 男	光 雄	鈴 子	邦 彦	昇 功	眞 市	珠 江	勝 枝	大 塚
葛 竈 沢	葛 竈 沢	楠 甫	岩 間	大 同	大 同	山 保	山 保	高 田	高 田	高 田	市川大門	市川大門	市川大門	市川大門	市川大門	市川大門	市川大門	大 塚